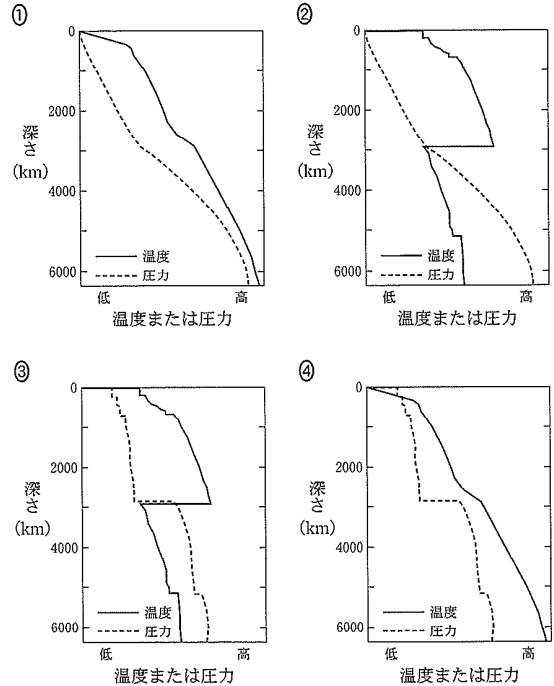


模試と同傾向の出題 ～ベネッセ・駿台模試より～

教科名：地学 I

センター試験・第1問 問3

問3 地球内部の温度・圧力は、岩石を高温高圧の状態にした実験の結果や地球内部を伝わる地震波速度などから推定されている。このようにして推定された地球内部の温度・圧力と深さとの関係を示す模式図として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3



第3回ベネッセ・駿台マーク模試・第1問 問2

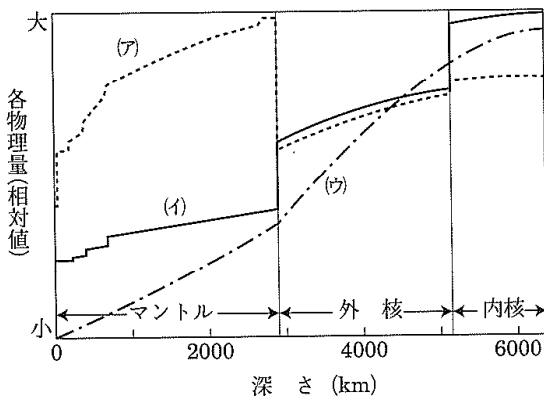


図 1

問2 前ページの図1で、地球内部の圧力と密度の分布を表すグラフの組合せとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 2

	圧力	密度
①	(ア)	(イ)
②	(ア)	(ウ)
③	(イ)	(ア)
④	(イ)	(ウ)
⑤	(ウ)	(ア)
⑥	(ウ)	(イ)

全体正解率	50.0%
SS60～	79.2%
SS55～60	64.7%
SS50～55	55.7%
SS45～50	45.4%
～SS45	28.3%

今回のセンター試験地学 I の第1問 (固体地球) の問3は、地球内部の温度・圧力と深さの関係についてのグラフを選択する問題であった。模試などでは比較的良好に出題される問題でありながら、センター試験での出題は2006年度の本試験以来であった。同様に、地球内部の圧力と密度の分布を表すグラフを選択する問題を、第3回ベネッセ・駿台マーク模試の第1問問2でも出題している。全体正解率は50.0%とやや低く、各成績層の間でよく弁別のとれる結果であった。センター試験のこの設問でも、同程度の結果になると推測される。

一見、暗記に頼るしかない問題のようだが、温度も圧力も、地球深部に向かって単調に値が増加し、また、物質や状態の変化する境界面でも急激なギャップができない、という性質を理解していれば、すぐに正解を選択することができた。